

拡張する建築

ベルリンでの協働の都市開発プロジェクト

Frizz23

ミース・ファン・デル・ローエ賞 2022 ファイナリスト 4 作品、ドイツ都市デザイン賞 2020、Dezeen アワード 2021 ショー
トリストなど高い評価を受けたプロジェクト「Frizz23」について、ベルリンの文化や政治的背景を踏まえながら計画から完成までの過程を建築家が紹介する国内初の機会となります。

2023. 3 / 23 Thu

18:00～19:30 (17:30 開場)

東京工科大学蒲田キャンパス 3 号館地下 1 階大講義室

〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22

参加無料

事前申込制

主催：東京工科大学デザイン学部

後援：公益社団法人日本建築家協会、環境芸術学会、ほか



デッドライン・アルキテクテン
Deadline Architekten

1993 年にブリッタ・ユルゲンス (Britta Jürgens) とマシュー・グリフィン (Matthew Griffin) によって設立。自分たちの都市を自分たちでつくり出せるようなインスピレーションと力を人々に与えることを目的とする。市民との協働でプロジェクトを計画することを重点に置き、ポリティカル・アクティビズム、プロジェクト開発、プロセス・モデレーション、建築デザインを組み合わせた独自の専門分野を開発。ベルリンに住み、仕事をしながら、イニシアチブ・シュタット・ノイデンケンなどさまざまな市民活動に関わる。